

## VIII. 牧野組合等意見交換会の開催

阿蘇の草原再生を進めていくにあたっては、草原維持管理の主体である地元牧野組合や関係機関への情報提供や意見交換により合意形成を図っていくことが非常に重要であることから、平成 16 年度は 2 回の牧野組合等意見交換会を企画した。1 回目はあいにく台風の影響で開催を中止せざるを得なかったが、2 回目の企画では、牧野組合員をはじめ 65 名が参集し、調査・事業等について報告し、意見交換を行うことによりコミュニケーションの緊密化を図った。

### 1. 「阿蘇草原再生と牧野組合調査結果に関する意見交換会」

阿蘇郡内の牧野組合長や町村の協力のもとに実施した「平成 15 年度牧野組合調査結果」及び、阿蘇草原再生に向けたその他の取り組みについて報告し、阿蘇草原再生事業の推進に向けて牧野組合員や関係機関の方々と意見交換を行い、合意形成を進めていくことを目的に、平成 16 年 8 月 30 日に意見交換会を開催することとし、参加を募った。50 名の参加が予定されていたが、台風直撃により中止。当日配布予定であった資料を阿蘇郡内全牧野組合長へ郵送した。

### 2. 「阿蘇草原再生に関する意見交換会」

阿蘇の自然環境を将来にわたって保全していくため、平成 15 年度から実施してきた調査・事業のさらなる展開や、草原再生の事業化に向けた検討を進めていくにあたり、実際に草原維持活動を担う阿蘇郡内の牧野組合や町村・関係機関などを対象とした意見交換会を開催した。

当日は、これまでの調査・事業の実施報告とともに、地域内の活動団体による取り組みの紹介を行った上で、今後の草原維持・保全・再生について、参加者との間で意見交換を行った。

#### 1) 開催概要

主 催：環境省自然環境局九州地区自然保護事務所、熊本県阿蘇地域振興局

開催日時：平成 17 年 2 月 4 日（金）13:30～16:00

開催場所：阿蘇勤労者いこいの村

対 象：阿蘇郡内牧野組合、行政・関係機関担当者 等

主なプログラム

- ・阿蘇草原再生の取り組みの全体像について
- ・これまでの調査・事業報告

- ・ 地域内の関連する取り組みについて
  - ・ - グリーンストックにおける阿蘇の環境保全と地域振興の取り組み
  - ・ - NPO 法人九州バイオマスフォーラムの取り組みについて
- ・ 阿蘇草原再生の事業化に向けて
- ・ 意見交換

#### 参加者

- ・ 牧野組合、関係機関、関連団体等：65 名
  - 牧野組合：17 牧野 / 42 名、行政（県、町村）：7 名、関係機関：7 名、
  - 大学研究機関：6 名、NGO・NPO：3 名
- ・ 主催者 / 事務局：10 名

#### 2) 主な意見

##### < 草資源の流通について >

- ・ 行政、関係機関等との連携により草資源流通センター構想の実現を
- ・ 菊池と阿蘇地域の連携による草資源流通の推進

##### < 牧野の放牧利用について >

- ・ 預託放牧を進めるためには仲介組織が必要
- ・ 県や関係機関が仲介して、預ける側と預かる牧野組合との意見調整や条件整理が必要

##### < その他 >

- ・ 阿蘇草原の歴史的遺産、草原文化の保全、活用を
- ・ GIS による情報整備、情報の共有化を